



まなびやまと

No.16

平成21年(2009年)10月
大和市教育委員会



シーカヤックに チャレンジ!

深見小学校 5年生

深見小学校では、毎年五年生が、「三浦ふれあいの村」において、宿泊移動教室を行っています。今年も六月二十六日(金)・二十七日(土)に、五年生七十一名全員が参加して、実施されました。

宿泊移動教室は、①「体験活動を通して、自然や友達との関わりを深めること」、②「計画や活動を通して自主性、協調性、責任感を培うこと」を目的として行われていました。

今年も、「三浦にある自然に思いっきり浸ることのできる活動を考えよう」という昨年度の反省をもとに、新たな活動を考えることにしました。その結果、新たに取られることにしたのが「シーカヤック体験」です。

当日、子どもたちは、一人ずつライフジャケットを身につけ、カヤックにチャレンジしました。事前に学習していたとはいえ、実際のカヤックは予想以上に大きく、重さ一〇kgのカヤックを海辺に運ぶ

のはひと苦労でした。海に入る直前には「落ちたらどうしよう!」「本当にできるかな!」という不安の言葉が聞かれました。

しかし、始めてみると、誰もがカヤックを上手に操ることができ、沖へこぎ出すことができました。

体験後は、どの子の表情も自信と達成感でキラキラと輝いていました。

この体験が、今後の生活で生かされることを期待します。



海の上をカヤックでス～イスイ

金メダリスト

白井貴子さんに学ぶ

下福田小学校 5年生

七月十六日(木)、下福田小学校で、五年生を対象にソフトバレーボール教室が開かれました。講師は、モントリオールオリンピックの金メダリストで元バレーボール選手の白井貴子さんです。本教室は、文部科学省と日本体育協会による「トップアスリート派遣事業」の取り組みの一つで、スポーツ界で活躍する一流選手から直接指導を受けることで、子どもたちにスポーツに意欲的に取り組む気持ちをもってもらおうのがねらいです。

身長一八〇cmの白井さんの入場に、「高い。」とどよめいた子どもたち。バレーボールを始めたきっかけや集団スポーツの魅力、メダルをとった時の思いなど、白井さんの話に真剣な表情で聞き入っていました。

簡単なゲームの後、補佐役の保護者の方と一緒に、レシーブ・パス・アタックの連続プレーやサーブ練習をしました。白井さんのアドバイスで、めざましく上達し、楽しんで

いた子どもたちでしたが、「ボールがくると思ったら動けなくなっちゃった。」「ボールをもらって、あげる、というのを同時にやるのは難しい。」と話していました。そして、「走ることからでいいからスポーツを始めて」「相手の気持ちを考えて」「目標をもって生きて」という白井さんの願いをしっかりと受けとめていました。

保護者の方は、「お会いできてうれしいです。子どもたちにとってすばらしい機会です。」と話してくれました。

子どもたちは、最後に金メダルにさわって大興奮でした。「私、テニスでメダルをとる。」と話してくれた瞳は、金メダルのように輝いていました。



アタックに挑戦

「ホタルの光」をまもる

下福田中学校

下福田中学校にはホタルが飛び池があります。

今年も、五月三十一日(日)、六月一日(月)の夜七時半から一時間、「ホタル鑑賞会」が地域の方にも公開されました。

六月一日、やや涼しかったものの、十匹くらいのホタルが光っており、時折二〜三匹のホタルが飛び交う様子も見られました。池には五十〜六十人くらいの親子連れや近くの住民、小中学生などが次々と訪れ、ホタルの光を楽しんでいました。

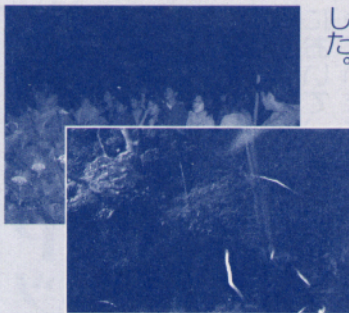
「ホタルは光しか見えないので、家に帰って子どもと図鑑で調べたいと思います。身近にこういう場所があることはよいことだと思います。自分自身も童心にかえりま

した。たくさんの人にいてもらいたいと思います。」とお子さん連れのお父さん

は話してくれました。

この池は、引地川の川岸の裏山の湧き水を利用したもので、創立二十周年を記念して平成十四年につくられたものです。学校では、地域の方(大和ホタルを楽しむ会)の協力を得て、ホタルの幼虫を放流したり、幼虫のえさのカワニナを飼育したりと、新採用教員研修の一つとして、若い先生が中心になって保護活動に取り組んでいます。

今年も、池に穴が空いてしまいの穴埋め作業をしたり、カワニナを座間に採りに行ったり、苦勞も多かったそうです。苦勞の甲斐あって、無事にホタルが飛び、喜びもその分大きかったと話してくれました。



池を飛び交うホタル

青空に響く鼓笛の音

文ヶ岡小学校「鼓笛隊」

五月十七日(日)、上草柳地区社会福祉協議会二十周年記念式典において、文ヶ岡小学校「鼓笛隊」に、感謝状が授与されました。これは、泉の森のしらかし広場で、みどりの日の四月二十九日に行われる「やすらぎと緑のふれあいまつり」に永年出演し、地域に貢献していることが認められたからです。



校庭でリハーサル

四月二十七日、文ヶ岡小学校の校庭では、今春の出演に向け、練習の仕上げであるリハーサルが行われていました。二時間目の授業が終わった後、チャイムとともに校庭に出てきた一〜四年生の多くの児童が昇降口前に座り、校舎の窓から顔をのぞかせている児童もいます。ドラムメジャー(指揮者)のもつパトン(指揮棒)とホ

イッスルでテレビアニメ「ザゲエさん」の主題歌の演奏が始まりました。「水戸黄門のテーマ」「文ヶ岡小学校校歌」「キセキ」の全四曲が演奏されました。身



体はゆらし、リズムをとっていた二年生は、「この曲知ってるよ。」「ピアノみたいな楽器が好き。」「あの太鼓が三つついてる楽器を弾いてみたい。」「お姉ちゃんが弾いているんだ。」と楽しげに話してくれました。

演奏後、シロフォンやドラムを担当した児童は、「明日日は緊張しちゃうかも。」「たくさん練習してきたから大丈夫。」「と話してくれました。二十九日当日、さわやかな晴天のもと、真っ赤なバンドナを首に巻き、白のシャツを着た児童が登場すると、水上

ステージはあたたかな拍手に包まれました。豊かな自然と地域の方々のまなざしの中で、鼓笛の音色が響きわたりました。一人ひとりが、自分の力をだききって一つのことをなしたとげた児童の表情はとも満足感にあふれ、リハーサルの時以上の輝きを放っていました。「子どもたちが生き生きとしている。」「今後も続けてほしい。」「と参観していた方が話してくれました。文ヶ岡小学校「鼓笛隊」は、五年生と六年生全児童により編成され、「やすらぎと緑のふれあいまつり」、「運動会」、児童会の行事「六年生を送る会」において演奏をしています。毎年三月には、学校的全教職員が関わり、六年生から五年生へ技術が伝承されています。



水上ステージで演奏する鼓笛隊

大和市民まつりひろばさわやかな声

引地台中学校「ひろば」運営ボランティア

引地台中学校では、引地台公園に隣接した立地を生かした活動が行われています。



ごみの分別

催者等と連携して、二〇〇四年から行っている活動です。

五月九日(土)・十日(日)、大和市民まつりのメイン会場である引地台公園に、「ご協力をお願いします。」のひときわ大きな声が響いていました。「ひろば」街が好きになる運動」に運営ボランティアとして参加する引地台中学校の生徒の皆さんの声でした。この「ひろば」運動は、まつり等のイベント参加者に清掃活動への参加を促すもので、JT(日本たばこ産業)が主



協力者にトングとごみ袋を渡す

五月十日、十時に学校に集合した十八人の生徒は、ひろ街本部」で活動開始。「ご協力をお願いします。」「街をきれいにしませんか。」と声をかけ、協力者にトングとごみ袋を渡すグループ。袋いっぱい集めてきたごみを、台の上に広げ、ビニール手袋をして分別を手伝うグループ。「ありがとうございます。」「ありがとうございました。」「エコバッグをプレゼントするグループ。参加した生徒の皆さんは「においが耐えられない。」「やりがいがある。」「ありがとう」といわれると楽しい。」「などと話してくれました。

担当の先生

は、「二日間
で延べ四十四
人の生徒が参
加していま
す。生徒は、

この暑い中、一生懸命やってくれています。昨日プレゼントしたエコバッグは二〇〇〇袋にもなりました。市民まつりには今年初めて参加しましたが、生徒には生きた学習です。人のために働き、感謝されることで、多くのことを感じてくれています。職場体験などもそうですが、生徒には必要なことだと思えます。」と話してくれました。

引地台中学校では、部活動の朝練習の前に公園を清掃する活動も伝統として何年も続けられ、地域の方からも「ありがとう」と感謝されています。



地域の人々とのふれあいを

大和中学校「ボランティア委員会」

大和中学校では、ボランティア委員会が中心となって、地域の人々とのふれあいや環境美化活動に生徒のボランティアを募り取り組んでいます。毎年、大和市民まつり青少年指導員コーナー、校内園芸、近隣小学校運動会、クリーンキャンペーン、ふれあい広場、「ミセンまつり、環境フェア」等に参加し、今年度は、すでに延べ三〇〇人以上の生徒が参加しています。

章またはリボンをつけて参加し、後日ボランティアカードをもらうことができます。このカードは頑張った結果がわかると生徒にも好評で、継続して参加する生徒が増えています。



大和中ボランティア(小学校運動会に)



線路沿いの清掃

ボランティア委員会は、全学年各クラス一名の計二十一名からなる生徒会活動の一つです。外
部からのボランティア依頼を受け、学級で呼びかけ、参加者をまとめます。月に一回ある活動委員会の日だけでは対応できないほど、忙しいそです。

生徒は、事前説明を受けた後、大和中ボランティアの腕

担当の先生は「参加した生徒からは確実に成長がうかがえます。この活動は地域の方の善意に支えられています。『いい子ですね。』といわれるのも嬉しいのですが、『〇〇でしたよ。』と様子を教えてくださいたいのであります。生徒を集める時間の確保が難しいのですが、ボランティアに参加する生徒に内容とその意義についてじっくり指導し、理解させた上で参加させたいと思っています。日程に余裕をもってボランティアの依頼をしていただけると助かります。」と話してくれました。



「おらが学校」福田小の取り組みから

大和市立福田小学校

福田小学校では、児童が、自らの将来のために、知・徳・体バランスよく成長することをめざし、「ちゃんと勉強しよう・自分のために」を目標に掲げ、様々な活動を行っています。その一部を紹介します。

その一 朝の読書活動

六年前から朝自習の時間を利用して読書活動を実施しています。朝読書は子どもたちが文字に親しむだけではなく、落ち着いた学習に臨む姿勢が育成できるのではと考えたからです。

当初は毎日十分間国語科の授業として行っていました。が、現在では朝自習の時間の実施となっています。読む本は家庭から持って来ていますが、図書室の本を借りてもよいことになっています。マンガ等は禁止です。読書活動は子どもたちには好評で、どのクラスも静かに集中して取り組んでいます。

一・二年生では、火曜と木

曜に読み聞かせボランティアの三名の方に来ていただき、本を読んでいただきます。低学年の子どもたちは楽しみにしています。

その二

引地川クリーン作戦

六年生は毎年、六月の土曜授業参観日に総合的な学習の題材として環境学習に取り組み、引地川の清掃活動を行っています。授業参観日でもあり、保護者にも協力してもらっています。



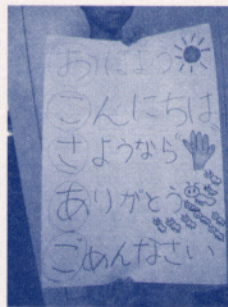
開始前に「川下りの会」の方から最近の引地川の汚れや変化についている自然の様子などの話を聞き、その後、一時間ほど川の中や周りの草むらの清掃を行なっています。大量の缶・ビン・その他のごみを拾

い集め、種類ごとに分別しています。集められたごみに子どもたちもびっくりしていました。

その三 児童会活動

◆あいさつ運動 六月

計画委員が各クラスを回り、あいさつの仕方や大切さについて話し、実際にあいさつの練習をしています。



あいさつ運動

◆福田小祭り 十一月

児童会のメインの行事で子どもたちも楽しみにしています。一〜四時間目までを使い、各クラスで工夫したお店や体験コーナーなどで楽しい時間を過ごしています。一番の人氣はお化け屋敷かな。

◆ユネスコ募金 一月

ユネスコの呼びかけにに応じ、今年で三年目を迎える活動です。計画委員が、冬休み明けに登校してくる児童から昇降口で募金してもらっています。

教育フォーラムのご案内

学校は、児童生徒にとって楽しい場所であり、多くのことを学ぶ場所でもあります。

しかし、何かしらの事情により学校を休みがちになってしまつ子どもたちがいます。

そのとき、先生たちや保護者はどのように対応したらよいのでしょうか。

不登校児童生徒を取り巻く環境を理解し、その支援と対応を考えていきたいと思ひます。

・日時 平成二十一年十一月十四日(土)

・十三時から十七時(受付十二時三十分)

・場所 勤労福祉会館3Fホール

・対象 市内小中学校教職員・関係機関職員・保護者・市民など(百名程度予定)

・内容 不登校の基調提案
パネルディスカッション

①不登校経験者 ②関係機関の方々

・申し込み

はがきに、教育フォーラム参加希望と書き、住所・氏名・連絡先を明記し、左記へお申し込みください。十月三十一日(土)まで。

T242-8601

大和市下鶴間一の一の一

大和市役所 教育委員会 指導室宛

「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。気軽に読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。